

財政制度等審議会 財政投融资分科会

説明資料

(株式会社海外需要開拓支援機構)

財務省 理財局

2026年 7 月15日

「CJ機構の検証等に係る検討会」に関する論点

ポイント（資料４－１ P４ 関係）

CJ機構は、2025年度決算で累積損益が▲540億円となり、修正後計画の目標値▲426億円を下回った。そこで経済産業省は、「CJ機構の検証等に係る検討会」を立ち上げて、

- ①【制度面】CJ機構に係る制度等
- ②【投資事業面】具体的な投資案件とその政策効果・収益性等
- ③【組織面・経営面】CJ機構の組織・体制・経営改善の取組等

について、徹底的な検証を行う方針を示している。

論点

検討会において①～③の観点から検証するにあたり、特に留意すべきことは何か。例えば次のような事項は、重点的な検証を求めるべきではないか。

- ・ 累積損失拡大の主要因を何と考えるか
- ・ 今後累積損失を最小化していくために、既存株式等の売却や運営コストの削減に関して、CJ機構はどのように取り組んでいくべきか
- ・ 取締役会や海外需要開拓委員会など、投資決定に関与する様々な組織内の主体は十分に機能を発揮していたか
- ・ CJ機構は、社外取締役の派遣など、投資先の企業価値向上を図る取組を行ってきたが、それらは実際に機能したのか
- ・ 投資方針やリスク管理方針の実効性の確保、資本コストを意識した経営など、他の官民ファンドの運営にも資する教訓は何か